

\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: °



# みらいっうしん

2月号

2018年2月1日  
田園調布学園大学  
未来こども園  
園長 長南 康子



☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*



「ありのままの～」のメロディーがどこからか聞こえてきました。声のする方へ行くと、3歳児ほし組の女の子が二人で思い思いに自分で歌を口ずさみながら踊っていました。体を思い切り伸ばしたり、くるくる回ったり、それはそれは楽しそうに舞っていました。先日の舞い散る雪の光景と重なって、ディズニー映画の一場面を見ているようなステキな数分間でした。アナとエルサは目に見えない透明のドレスを着ていたことも後で、そっと教えてくれました。(きれいなドレスを着ていたことが分かりましたとも！)

子どもの表情や行動は気持ちがそのまま表れます。目に映る子どもの姿、また、カメラのレンズ越しに見る被写体としての子どもの像は、私たちの心を和ませ、時には何かを訴えかけているような、真実も捉えることができます。心に響くのは子どもの偽りのない気持ちが映し出されるからでしょう。

子ども達は生活の中で様々な刺激を受けて、成長しています。大人に比べて知り得ていることは少なく、世界はごく限られた範囲の中だけです。だからこそ、目の前のことが全てであり、うれしいこと、楽しいこと、心配なことに出会った時、心が一杯になって、喜んだり、泣いたり、黙したり、その時々で、そのままの気持ちを行動で示します。

今日見たこと、今、出会っていること、例えば、舞い散るや雪やその冷たさを、仲良しの友達がお休みで淋しかったことを、保育者のハミングを(3歳児の1月の誕生会で担任達がアカペラを披露しました)、全てを受け止めて、一人一人が自分を作っていきます。(乳幼児期=人格形成の基礎を作る)

みらい子ども園は、関心をもったことに夢中になり、心を思いのままに表している子ども達の楽しさや面白さに出会える宝庫です。

宝の輝きはそれぞれに異なり、光を放っています。(長南)



0歳児組では、自分の好きな絵本を持ってきて私の膝にちょこんと座り「読んで」と言わんばかりに顔を見て首をかしげてきます。歌うようにして♪体を揺らしながら読むと「うんうん！」目がキラキラと嬉しそう。ところで、ご家庭では、大きくなり字が読める幼児組になるとつい「自分で読みなさい」と言っていないですか。年長さんは、小学校に上がると勉強が主になり、絵本には目が向かなくなるようです。だからこそ今この時期にしっかりと、読み聞かせをしてあげたいですね。それには理由があり、絵を見るときは文は読めません。文を読んでいるときは、絵を見ることができませんね。子どもは、目で絵を見ながら耳で文を聴きます。そして、絵を見ているときは右脳が働き(感性)、文を聴きながら左脳(理性)が働きます。感性と理性が同時に育つのが読み聞かせです。外に出られない日には是非！(副園長 久富)